

# 平成27年度 市政経営の概要 《施策と予算》

修正基本計画に位置付けた各施策・事業の着実な推進

4つの重点プロジェクトと2つのアクションにより施策全体を効果的に展開

<4つの重点プロジェクト>



**重点プロジェクト1**  
「強いまち」をつくるプロジェクト  
これまでの防災対策の取組に加え、  
震災の対応や教訓を踏まえた  
災害に強いまち



**重点プロジェクト2**  
「安心して住み続けられるまち」  
をつくるプロジェクト  
福祉や子育て、教育などの面で、  
だれもが安心して  
住み続けられるまち

**重点プロジェクト4**  
「うるおいのあるまち」を  
つくるプロジェクト  
地域資源を生かした環境面等  
でうるおいを醸し出すまち



**重点プロジェクト3**  
「利便性が高く快適で  
豊かなまち」をつくるプロジェクト  
都市構造の変貌を機に、利便性と  
快適性を兼ね備えた  
にぎわいと交流のある豊かなまち



<2つのアクション>

**アクション1「横断的連携による施策の推進」**  
横断的に取り組むべき主要事業や課題に  
ついて、連携体制を構築し、課題解決に向けた取  
組を推進

**アクション2「調布のまちの魅力発信」**  
調布の街が大きく変貌する機会を捉え、ソフト・  
ハードが一体となった魅力あるまちづくりを推進  
し、調布のまちの魅力を市内外に発信

<市政経営の2つの基本的考え方>

## 調布市

**参加と協働のまちづくり**  
～人と人がつながる市民が主役のまち～

**持続可能な市政経営**  
～質の高い行政サービスの提供～

# 平成27年度市政経営の概要《施策・予算》Contents

ページ



<b>I 市政の経営方針等</b>	<b>1</b>
1 平成27年度における市政の経営方針について	1
2 平成27年度予算編成方針について	1
<b>II 市政経営の重点</b>	<b>2</b>
1 4つの重点プロジェクト	2
(1) 強いまちをつくるプロジェクト	2
(2) 安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト	4
(3) 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト	7
(4) うるおいのあるまちをつくるプロジェクト	9
2 平成27年度におけるその他の主な新規・拡充事業	10
3 計画的な公共建築物の改修・維持保全等	10
4 マイナンバー導入に向けた取組	14
5 市制施行60周年記念事業	15
6 市政経営の2つの基本的な考え方	16
(1) 参加と協働のまちづくり ～人と人がつながる市民が主役のまち～	16
(2) 持続可能な市政経営 ～質の高い行政サービスの提供～	17
<b>III 予算(案)の概要</b>	<b>20</b>
1 市政経営を取り巻く状況	20
2 平成27年度市政の経営方針を踏まえた予算編成過程	21
3 予算規模	22
4 財政フレームム	23
<b>IV 一般会計の状況</b>	<b>26</b>
1 歳入歳出予算の状況	26
2 歳入予算の状況	28
(1) 市税	30
(2) 譲与税・交付金	34
(3) 市債	38
(4) 基金	40
(5) 使用料・手数料	42
(6) 国・都支出金	43
3 歳出予算の状況	44
(1) 目的別予算の状況	44
(2) 市民一人当たりの各目的別予算額	46
(3) 性質別予算の状況	47
(4) 主な予算科目等の状況	48
ア 民生費	48
参考 社会保障関係経費の推移	49
イ 土木費	51
ウ 教育費	52
エ 公債費	54
オ 繰出金(特別会計分)	55
カ 職員人件費	56
(5) 投資的経費	57
<b>V 主要事業概要</b>	<b>59</b>
<b>VI 財政規律ガイドラインから見た 平成27年度見込みと今後の取組</b>	<b>100</b>
<b>VII 特別会計の状況</b>	<b>115</b>
☑ 資料編	127
1 市政の経営方針等	129
2 平成27年度予算編成過程等	145
3 平成27年度会計別予算の状況	151
4 データ集(経年比較等データ)	163
5 財政用語の解説	181
予算(決算)の主な用語の解説	181
代表的な財政用語の解説	188
地方財政健全化法	197

## 強いまちをつくるプロジェクト

### 「地域の防災力を高める」

- ◆防災市民組織の育成
- ◆調布市災害時要援護者避難支援プランの推進
- ◆防災備蓄品の確保・充実
- ◆災害情報システムの維持管理・充実
- ◆消防水利の整備・維持管理
- ◆消防団の対応能力の向上
- ◆常備消防力の維持・向上
- ◆命の教育活動の推進(調布市防災教育の日)

### 「強い都市基盤をつくる」

- ◆特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業
- ◆橋りょうの耐震改修
- ◆下水道施設の地震対策の推進
- ◆住宅の耐震化の促進



## 安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト

### 「高齢者や障害者の暮らしを支える」

- ◆福祉人材育成拠点の整備
- ◆地域包括支援センターの充実
- ◆介護予防・日常生活支援総合事業の展開
- ◆地域密着型サービスの整備(認知症高齢者グループホーム1か所)
- ◆特別養護老人ホーム等の整備
- ◆障害者の就労支援



### 「子どもたちの健やかな成長を支える」

- ◆待機児童対策の推進
- ◆学童クラブ施設の整備
- ◆ひとり親世帯の子ども学習・相談支援事業
- ◆子ども・若者総合相談事業
- ◆特別支援教育の推進
- ◆小・中学校施設の整備

## 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト

### 「21世紀の調布のまちの骨格をつくる」

- ◆駅前広場の整備(調布・布田・国領)
- ◆鉄道敷地の整備
- ◆都市計画道路の整備
- ◆調布駅周辺における市街地再開発事業の促進
- ◆自転車等駐車場の整備・有料化



### 「まちの活力を高める」

- ◆商店街活性化の推進
- ◆民間ノウハウを活用した中小企業・小規模事業者の支援
- ◆「映画のまち調布」の推進
- ◆オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進

## うるおいのあるまちをつくるプロジェクト

### 「豊かな水と緑を大切に守り生かす」

- ◆公園・緑地、産緑樹林地の保全
- ◆公園・緑地等の整備
- ◆深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用

### 「良好な景観を創出する」

- ◆景観計画・景観条例の運用
- ◆深大寺地区におけるまちづくりの推進
- ◆公共サイン計画の検討・運用



### 本説明資料について

本概要は、平成27年度施策・予算(案)の内容を編集・整理し、できるだけ見やすくわかりやすくを基本に作成しています。

◇原則的に各表の数値は、各項目の百万円、表示単位未満四捨五入を基本としています。  
◇過去の推移は、原則的に当初予算額で表示しています。ただし、市債・基金は残高表示のため決算額を基本に、平成26年度は見込額で表示しています。

◇主要事業や重点プロジェクトの事業費は、各施策の活り方によって、事業費の差異がある場合があります。

# I 市政の経営方針等

調布市は市制施行 60 周年の節目を迎える中、平成 27 年度は、修正基本計画の初年度として、計画に位置付けた 4 つの重点プロジェクトをはじめ、新たな課題や制度改正への対応を含む基本計画に位置付けた各施策・事業を、庁内連携の推進と調布のまちの魅力を発信しながら着実に推進していきます。

市の財政状況は、健全性を維持しているものの、まちの大きな変革期にある中、様々な財政需要から厳しさが続いており、財政構造の見直しと財政基盤の強化は不可欠です。また、国内の社会経済状況においては、景気回復への兆しはあるものの、地域経済や市政への波及効果と今後の見通しは、なお不透明なところがあります。

こうした市政を取り巻く環境の変化や市の財政状況について全職員が共通認識を持って適切に対処するとともに、財政の健全性を維持していく必要があります。その中で、災害対策の強化など市民の安全を守る取組や市民生活支援を継続し、変革期にある調布市を展望した 21 世紀のまちの骨格づくりや、活力とうるおいのあるまちづくりなど、修正基本計画に基づく取組を着実に推進するとともに、市民と共に市制施行 60 周年を記念する各種事業を実施し、まちの将来像「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」の実現に向けて取り組んでいきます。

## 1 平成 27 年度における市政の経営方針について

(平成 26 年 10 月 10 日付け市長通達)

### <平成 27 年度市政経営方針骨子>

- (1) 市民が主役のまちづくり、参加と協働の一層の推進  
ア 自治の理念と市政運営に関する基本条例に基づく市政の推進、イ 市民参加と協働による市制施行 60 周年の取組、ウ 市政情報の積極的な提供
- (2) 市政の効率化、持続可能な市政経営  
ア 不断の行財政改革、イ マイナンバー制度への対応、ウ 公共施設の計画的な維持保全等、エ 健全な財政運営、オ 組織・人員体制の整備、カ 人材の確保・育成
- (3) 重要課題への取組  
ア 重点プロジェクトへの取組、イ 庁内連携の推進・調布のまちの魅力発信

## 2 平成 27 年度予算編成方針について

(平成 26 年 10 月 10 日付け行政経営部長通知)

### <平成 27 年度予算編成における基本姿勢>

- (1) 基本計画、財政フレームの時点修正と併行し、財政の健全性を維持した複数年次を見据えた予算編成への取組
- (2) 先行き不透明な財政環境の中にあっても、市政の第一の責務として、市民の安全安心の確保と市民生活支援への継続的な取組と、計画的な街づくりの推進
- (3) 新たな財政需要に対処するため、「選択と集中」の視点から、事業の優先度や内容、規模、効果を厳しく精査するとともに、あらゆる角度からの財源確保、経費縮減への取組

## II 市政経営の重点

### 1 4つの重点プロジェクト

\*事業費は原則として100万円未満を四捨五入しています。



修正基本計画の初年度として、計画に位置付けた4つの視点（「強いまち」、「安心して住み続けられるまち」、「利便性が高く快適で豊かなまち」、「うるおいのあるまち」）による重点プロジェクト事業を推進します。

#### (1) 強いまちをつくるプロジェクト

##### ◆ 地域の防災力を高める

自助・共助・公助の基本的な考え方のもと、地域や関係機関等との協働により、地域の防災体制づくりを推進し、地域の防災力の向上を図ります。

##### ◆ 強い都市基盤をつくる

特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化促進や橋りょう・下水道の耐震化の推進により、市民の安全を守り、安心して暮らすことができる災害に強い都市基盤づくりを進めます。

#### ◆ 地域の防災力を高める

##### 【平成27年度の主な取組】

##### ◇ 防災市民組織の育成（基本計画事業 No.1）＜総務部＞ **300万円**

防災に関する各種講演会や出前講座などの実施や、防災備蓄品の提供などによる支援を行い、地域に根差した防災活動の主体となる防災市民組織の新規結成や育成を図ります。

##### ◇ 調布市災害時要援護者避難支援プランの推進（基本計画事業 No.2）＜福祉健康部＞ ※拡充 **200万円**

調布市災害時要援護者避難支援プランに基づき、災害時に円滑に避難することが困難な高齢者や障害者などの避難行動要支援者の名簿を整備し、消防、警察、民生児童委員、福祉関係団体、地域で活動する組織等との平常時からの連携に努め、災害時に自助・共助・公助がそれぞれの役割を發揮できる体制の整備に努めます。

##### ◇ 防災備蓄品の確保・充実（基本計画事業 No.3）＜総務部＞ ※拡充 **6,100万円**

災害時医療体制の充実を図るため医薬救護所用テントの確保を行うとともに、引き続き避難所運営に資するためのLED照明器具等の確保・充実を図ります。併せて、小学校に2基目となる防災備蓄コンテナの配備を進めるため、小学校3校にコンテナを設置します。また、平成27年度は、京王相模原線鉄道敷地への防災備蓄倉庫の設置に向けた設計を実施します。

##### ◇ 災害情報システムの維持管理・充実（基本計画事業 No.4）＜総務部＞ ※拡充 **3,900万円**

地震や風水害などの災害情報を提供する市民向けメールシステムや、防災フリーダイヤルの運用を行い、災害時の情報提供・通信システムの確保に努めます。また、平成27年度は、医療救護所との連携強化を図るため、MCA無線の外部アンテナを設置するとともに、MCA無線を増設します。さらに、災害時に災証明書を迅速かつ円滑に発行するため、被災者生活再建支援システムを導入します。

##### ◇ 消防水利の整備・維持管理（基本計画事業 No.9）＜総務部＞ **1億1,900万円**

災害時に迅速な消火活動が展開できるよう、防火貯水槽を新設し、災害時の対応能力の維持・向上を図ります。また、消火栓の新設・維持管理を行います。

##### ◇ 消防団の対応能力の向上（基本計画事業 No.10）＜総務部＞ ※拡充 **3,100万円**

火災・災害時における対応能力を向上するため、救助資機材や装備品の充実を図るとともに、東京消防庁の無線デジタル化に伴い、デジタル受令機を整備します。また、消防団員の救命講習や公務災害補償の充実を図り、消防団の円滑な運営と対応能力の向上に努めます。

◇ **常備消防力の維持・向上**（基本計画事業 No.11）＜総務部＞ ※拡充 **4億5,300万円**

東京消防庁と連携・協力し、常備消防力の維持・向上を図るため、調布消防署国領出張所及び調布消防署本署の建替えを進めます。平成27年度は、国領出張所の仮設用地の借用、調布署本署の建替用地の取得を行います。

◇ **命の教育活動の推進**（基本計画事業 No.28）＜教育部＞ **400万円**

命の尊さを考える授業や、防災に係る地域対象の講座、訓練等を実施する「調布市防災教育の日」の取組を小・中学校全校一斉で実施します。また、普通救命講習を小学校6年生・中学校3年生に実施するとともに、各校2人程度の応急手当普及員を配置を目指し、市立小・中学校全教員の上級救命講習を実施します。

◇平成27年度「調布市防災教育の日」 平成27年4月25日（土）



◆ **強い都市基盤をつくる**

【平成27年度の主な取組】

◇ **特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業**（基本計画事業 No.6）＜都市整備部＞ **6億2,600万円**

震災時の復旧・復興の際、物流の大動脈となる特定緊急輸送道路が沿道の建築物の倒壊により閉塞しないよう、耐震診断、補強設計、耐震改修、建替え及び除却に要する費用の一部を補助し、沿道建築物の耐震化を促進します。

◇ **橋りょうの耐震改修**（基本計画事業 No.7）＜都市整備部＞ **8,300万円**

災害時の救急・救助や資機材等の物流経路を確保するため、橋りょう長寿命化計画に基づき計画的な耐震改修工事を進めます。また、橋りょうの安全な維持管理のため、橋りょう台帳を整備するとともに、補修工事を行います。

◇平成27年度補修工事：中央道跨道橋7橋

◇ **下水道施設の地震対策の推進**（基本計画事業 No.8）＜環境部＞ ※拡充 **1億400万円**

調布市下水道総合計画及び調布市下水道地震対策総合計画に基づき、災害対応の拠点となる救急病院・避難所等からの排水を受ける管路の耐震化工事を実施し、地震により損傷しやすい下水道管とマンホールの接続部分の可とう化を進めます。

平成27年度は、マンホール50か所の耐震化工事と平成28年度の工事に向けた実施設計を行います。

◇ **住宅の耐震化の促進**（基本計画事業 No.86）＜都市整備部＞ ※拡充 **2,500万円**

昭和56年5月31日以前の旧耐震基準により建築された木造住宅の所有者及び分譲マンションの管理組合等に対する耐震診断費用等の一部助成、耐震アドバイザーの派遣に加え、新たに分譲マンション耐震改修費用等の助成を実施し、災害に強い住環境づくりに取り組みます。



## (2) 安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト

### ◆ 高齢者や障害者の暮らしを支える

だれもが安心していきいきとした生活をおくれるよう、高齢者や障害者の暮らしを支える取組の充実を図ります。

### ◆ 子どもたちの健やかな成長を支える

安心して子どもを産み育てられ、次代を担うすべての子どもたちが夢を持って健やかに育つ環境づくりを進めます。

### ◆ 高齢者や障害者の暮らしを支える

【平成27年度の主な取組】

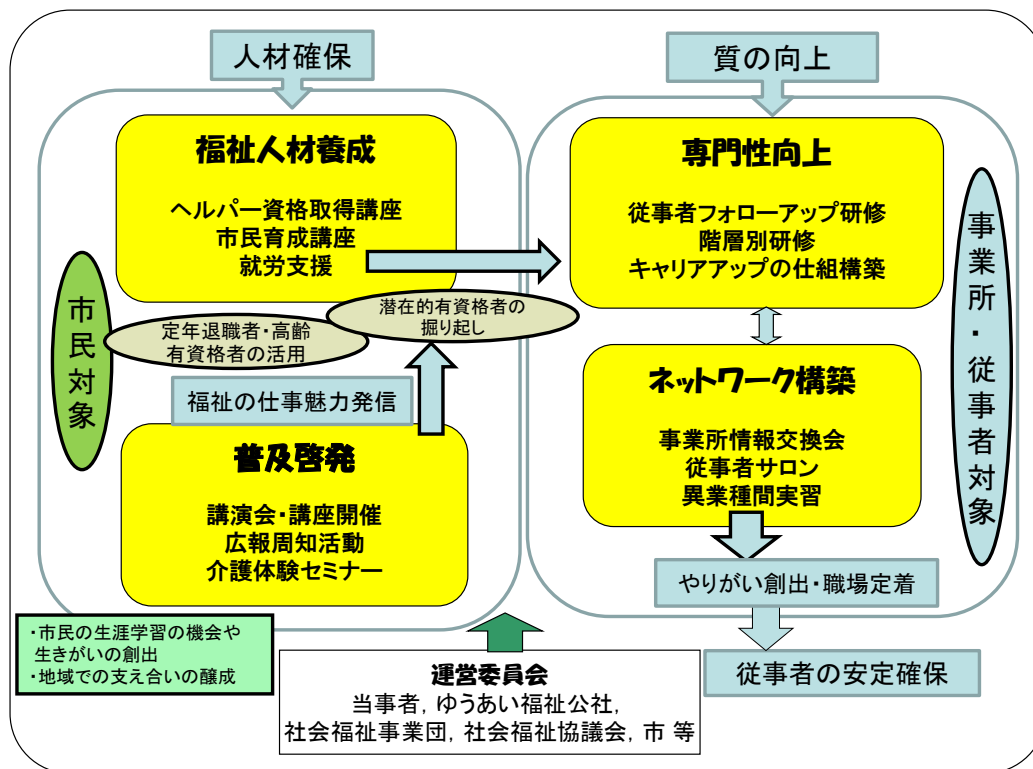
#### ◇ 福祉人材育成拠点の整備（基本計画事業 No.34）＜福祉健康部＞ ※新規

2,300万円

専門性を備えた福祉人材の確保及び地域の福祉人材の育成を総合的に推進するため、福祉人材育成の拠点を整備し、将来にわたって福祉・介護ニーズに的確に対応するための人材の確保と質の向上を図ります。

※事業費については、一部平成26年度前倒し実施分を含んでいます。

#### ＜福祉人材育成拠点の整備事業イメージ＞



#### ◇ 地域包括支援センターの充実（基本計画事業 No.35）＜福祉健康部＞ ※拡充

2億9,500万円

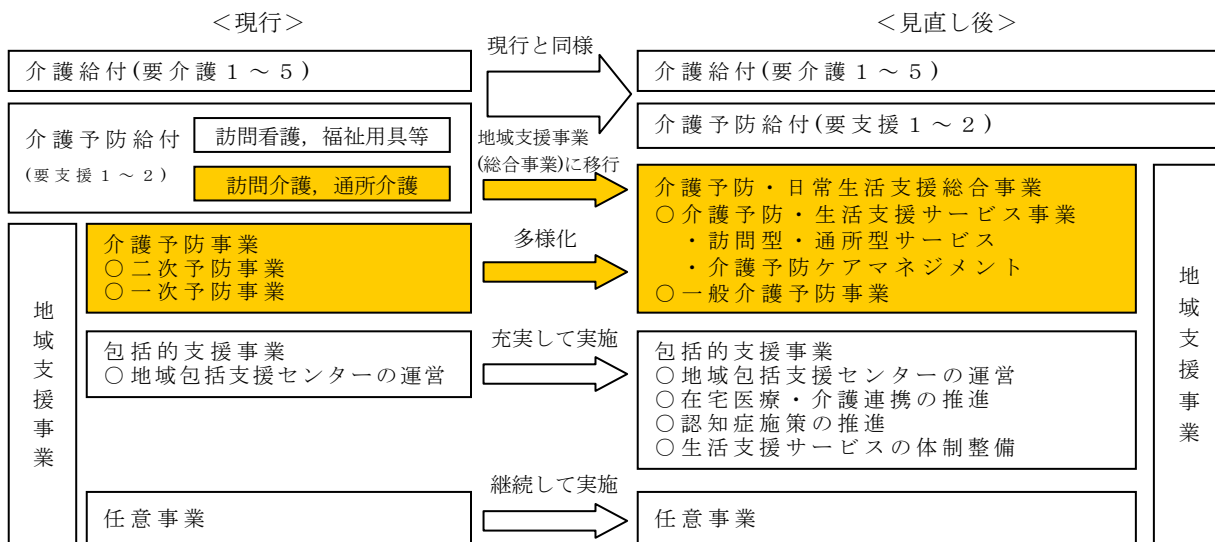
市内10か所の地域包括支援センターを中核として、高齢者の包括的・継続的なケアマネジメント支援、地域ケア体制の構築に取り組みます。多様なネットワークを活用して、介護予防ケアマネジメント、総合相談・権利擁護等の個別支援を行います。また、平成27年度からの介護保険制度の改正に伴い、新たに在宅医療・介護連携事業及び認知症総合支援事業を実施するため、各地域包括支援センターに専門員を配置します。

#### ◇ 介護予防・日常生活支援総合事業の展開（基本計画事業 No.37）＜福祉健康部＞ ※拡充

4,500万円

介護保険制度の改正に伴い、平成28年度から一部の介護予防給付を介護予防・日常生活支援総合事業へ移行します。これに先立ち、従来の介護予防事業を見直し、介護予防の普及啓発事業やフォローアップ事業、地域での介護予防の継続的な取組を支援します。また、ボランティア育成など地域での支え合いの体制整備を進めるため、生活支援コーディネーター及び協議体を設置します。

**<介護保険制度の改正に伴う見直し（介護予防給付の見直しと地域支援事業の充実）>**



※地域支援事業は、要支援・要介護状態となる前からの予防を推進するとともに、要介護状態になっても、可能な限り地域で自立した生活を送ることができるよう、市町村が行う事業です。

**◇ 地域密着型サービスの整備（基本計画事業 No.38）<福祉健康部> ※拡充 1,100万円**

認知症や介護が必要になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように支援する「地域密着型サービス」を、市内4つの日常生活圏域（東部、西部、南部、北部）のバランスに配慮しながら整備を促進します。平成27年度は、認知症高齢者グループホーム1か所（西部）の開設支援を行います。

**◇ 特別養護老人ホーム等の整備（基本計画事業 No.39）<福祉健康部> 7,000万円**

引き続き、特別養護老人ホーム等の建設費等の一部を助成することで、整備計画を推進し、要介護高齢者の安定した生活を確保します。

**◇ 障害者の就労支援（基本計画事業 No.42）<福祉健康部> ※拡充 6,800万円**

障害者が一般就労し、安心して働き続けることができるよう、身近な地域において就労面及び生活面の支援を一体的に行い、障害者の就労の促進を図り、社会参加と自立を促進します。平成27年度は、利用者の増加に対応するため体制の充実を図るとともに、ちょうふだそう・すまいる分室の移転に向けた設計を行います。

**◆ 子どもたちの健やかな成長を支える**

**【平成27年度の主な取組】**

**◇ 待機児童対策の推進（基本計画事業 No.21）<子ども生活部> ※拡充 11億4,000万円**

保育園待機児童の解消に向け、（仮称）調布市子ども・子育て支援事業計画に基づき、認可保育園等の誘致・整備を行い、計画的に定員拡大に取り組みます。平成27年度は、700人規模の定員拡大を目指し、認可保育園8園の開設誘致に取り組みます。

**◇ 学童クラブ施設の整備（基本計画事業 No.22）<子ども生活部> ※拡充 2,000万円**

（仮称）調布市子ども・子育て支援事業計画に基づく学童クラブとユーフォーとの連携による利用状況を把握しながら、児童の適切な育成環境を確保するため、条例で定めた学童クラブの設備及び運営の基準を踏まえ、段階的に施設整備を進めます。

**◇ ひとり親世帯の子ども学習・相談支援事業（基本計画事業 No.19）<子ども生活部> ※新規 400万円**

子どもの貧困対策として、ひとり親世帯の子どもに対して、学習支援や生活支援を行い、貧困連鎖防止に取り組みます。

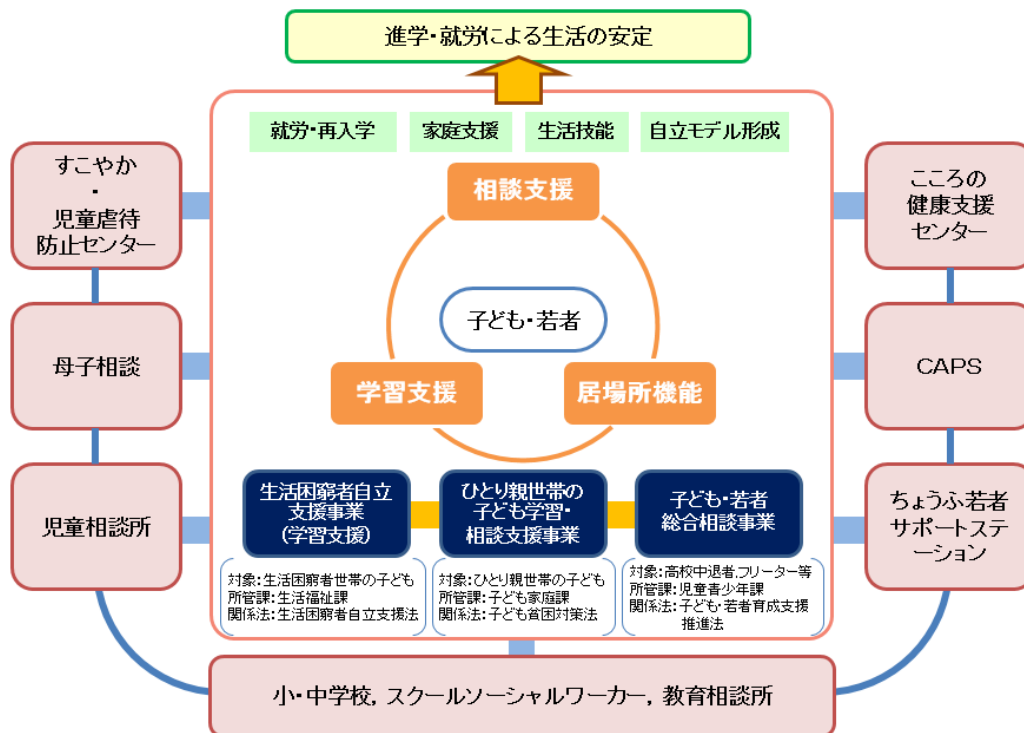
◇ 子ども・若者総合相談事業（基本計画事業 No.31）＜子ども生活部＞ ※新規

500万円

15歳以上の高校中退者、フリーター、ひきこもり等の子ども・若者を対象として個々の自立を目指し、教育・福祉・保健・医療機関や、ちょうふ若者サポートステーションと連携し、地域で支える支援体制を整備するため、総合相談窓口を設置します。

子ども・若者総合支援事業の展開イメージ

調布市では、貧困の連鎖を防止するとともに、社会的に困難を抱えた子ども・若者の自立を支援するため「ひとり親世帯の子ども学習・相談支援事業」、「子ども・若者総合相談事業」と「生活困窮者自立支援事業（施策10セーフティーネットによる生活支援の基本計画事業として位置付け）」における「子どもの学習支援」を一体的に行う「子ども・若者総合支援事業」を実施します。



◇ 特別支援教育の推進（基本計画事業 No.26）＜教育部＞ ※拡充

5,300万円

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症等を含めたすべての障害や学習困難、集団不適応等の課題のある児童・生徒に対し、スクールサポーターの小・中学校全校配置や専門家チームの巡回相談等により、個々に応じた教育支援を行います。また、平成27年度は、特別支援学級の教育活動にタブレット型端末をモデル的に導入し、学習意欲の向上を図ります。

◇ 小・中学校施設の整備（基本計画事業 No.29）＜教育部＞ ※拡充

22億9,000万円

児童・生徒が良好な環境の中で学ぶことができるよう、学校施設の計画的な維持・保全を実施し、施設の老朽化対策を推進するとともに、給食室アレルギー対策や、非構造部材の耐震化、避難所機能の向上を進めます。併せて、不足教室への対応や、特別支援教室の整備を行うとともに、水飲栓の直結給水化や校庭の一部芝生化に取り組みます。また、今後の長寿命化等施設整備方針の策定検討に向け、校舎の構造体の耐久性調査を実施します。

◇児童・生徒数増加に伴う施設整備：普通教室整備（若葉小）、校舎増築設計（神代中）、体育館改築設計（五中）

◇学校施設の維持保全：給食室改修工事（2校）、屋上防水改修（小学校3校、中学校2校）、

受変電設備改修工事（小学校6校、中学校1校）

校舎外壁改修工事（富士見台小、上ノ原小、石原小、四中）

◇非構造部材の耐震対策：飛散防止フィルム（三小、六中、八中）、体育館屋根・外壁改修（三小、六中、八中）

◇学習環境の改善：直結給水改修工事（七中、八中）、校庭芝生化（緑ヶ丘小1校）

校庭整備工事（上ノ原小・緑ヶ丘小・七中）校舎床改修工事（四中）

空調機設置工事（七中）、トイレ洋便器化（小・中）

◇避難所機能向上：工事（飛田給小、国領小、神代中、三中）

◇特別支援教室整備：小学校16校（情緒障害等通級指導学級設置校4校※を除く）



### (3) 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト

#### ◆ 21世紀の調布のまちの骨格をつくる

京王線の地下化に連動した21世紀の調布のまちの骨格づくりを進め、様々な都市機能の集積、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間の創出により、魅力的な市街地の形成を図ります。

#### ◆ まちの活力を高める

まちの回遊性を高め、歩いて楽しいまちづくりを進めるとともに、映画やスポーツなどの地域資源を生かし、まちの活性化を図ります。

#### ◆ 21世紀の調布のまちの骨格をつくる

##### 【平成27年度の主な取組】

##### ◇ 駅前広場の整備（基本計画事業 No.80）＜都市整備部＞ ※拡充

16億6,000万円

京王線連続立体交差事業により鉄道が地下化された調布・布田・国領3駅の駅前広場を南北一体的に整備し、交通結節点としての機能を向上させるとともに、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある駅前広場を計画的かつ段階的に整備します。

平成27年度は、調布駅前広場について必要な用地の確保を進めるとともに、国領駅前広場について平成27年度の完成を目指し、整備工事を進めます。



##### ◇ 鉄道敷地の整備（基本計画事業 No.81）＜都市整備部＞※拡充

1,100万円

京王線連続立体交差事業により生み出された貴重な都市空間を有効に活用し、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間として、鉄道敷地の整備に取り組みます。

平成27年度は、全体設計を行うとともに、3か所の自転車駐車場等の用地取得・測量・設計と1か所の都市公園等の用地取得・測量・設計を行います。また、鉄道敷地端部の活用に向け、防災備蓄倉庫の設計や「ちょうふだそう・すまいる分室」の移転準備として設計を行います。

<参考>

○鉄道敷地の整備（全体） 6億6,400万円

【全体設計】	設計
【自転車駐車場（3か所）】	測量・設計・用地取得
【都市公園（西調布方端部）】	測量・設計・用地取得
【ちょうふだそう・すまいる分室移転（国領方端部）】	設計
【防災倉庫（京王多摩川方端部）】	設計

##### ◇ 都市計画道路の整備（基本計画事業 No.89）＜都市整備部＞

11億2,500万円

中心市街地における、道路交通ネットワークの構築と歩行者の回遊性向上を図るため、調布3・4・28号線（蓮慶寺の通り）の用地取得等を進めるとともに、調布3・4・26号線（三鷹通り）の設計等を行います。

また、交通結節機能の向上を図るため、調布3・4・32号線（西調布駅北口）及び調布3・4・33号線（飛田給駅南口）の工事等を進めます。

併せて、将来の交通需要に対応した秩序ある道路交通網を形成するため、(仮称)調布市道路網計画の策定に取り組みます。

- 調布3・4・26号線（旧甲州街道～甲州街道）設計等（京王線～旧甲州街道）測量等
- 調布3・4・28号線（旧甲州街道～甲州街道）用地取得等（京王線～旧甲州街道）電線共同溝工事等
- 調布3・4・32号線工事等
- 調布3・4・33号線工事等

◇ **調布駅周辺における市街地再開発事業の促進（基本計画事業 No.82）** <都市整備部> **10億8,900万円**

魅力ある商業・業務・住宅施設等の整備とともに、都市計画道路等の公共施設整備により、駅周辺にふさわしい土地の高度利用を図り、にぎわいと活力のある市街地を形成します。

平成27年度は、調布駅北第1A地区及び第1B地区とともに、施設建築物の完成を目指して工事を進めます。また、調布駅南口東地区は組合解散・事業清算を行います。

◇ **自転車等駐車場の整備・有料化（基本計画事業 No.94）** <都市整備部> **5億6,500万円**

調布市自転車等対策実施計画に基づき、自転車等駐車場の整備・有料化を図りながら、計画に位置付けた収用台数の確保を進めます。

平成27年度は、鉄道敷地3か所の用地取得、設計、測量を行うとともに、つつじヶ丘駅周辺において3か所の自転車等駐車場の有料化に取り組みます。

◆ **まちの活力を高める**

【平成27年度の主な取組】

◇ **商店街活性化の推進（基本計画事業 No.62）** <生活文化スポーツ部> **4,500万円**

市内の商業の活性化に向け、商店会のイベント事業への支援を通じて、商店会や個店の魅力向上の取組を支援するとともに、調布市商工会、市内事業者、商店会と連携した商業活性化事業を展開します。

また、環境対応型LED街路灯への設置について、東京都の補助制度も活用した支援をするほか、老朽化した街路灯の撤去費用の一部を助成することで、商店街の負担の軽減を図ります。

◇ **民間ノウハウを活用した中小企業・小規模事業者の支援（基本計画事業 No.64）** <生活文化スポーツ部> **100万円**

地域経済の活性化を図るため、市内事業者が抱える課題解決に向け、包括協定を結んでいる金融機関と連携し、きめ細かな市内事業者支援に取り組みます。また、市内事業者への経営サポートとして、事業所訪問のほか、創業支援や経営課題に関するセミナー等を開催し、市内事業者を支援します。

◇ **「映画のまち調布」の推進（基本計画事業 No.66）** <生活文化スポーツ部> ※拡充 **1,000万円**

映画・映像を「つくるまち」、「楽しむまち」、「学ぶまち」をテーマに、積極的な口ケ支援や市民・事業者等と連携した映画イベントの支援・協力、世代に合わせた「高校生フィルムコンテスト」等の調布市独自の事業を展開します。また、市内映画・映像関連企業と連携し、市制施行60周年事業を開催するなど、引き続き地域の活性化に取り組みます。



◇ **オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進（基本計画事業 No.57）** <生活文化スポーツ部> ※新規 **200万円**

2020年東京オリンピック・パラリンピックの競技会場となる味の素スタジアム及びその周辺施設の立地市として、大会開催に向けて、スポーツ分野をはじめとする様々な取組において、関係団体と連携してまいります。小・中学生バレーボール体験教室及び大会などを通じ、スポーツ競技への興味・関心を高めていきます。

## (4) うるおいのあるまちをつくるプロジェクト

### ◆ 豊かな水と緑を大切に守り生かす

調布の大切な財産である緑と水辺環境を守り育て、うるおいのあるまちを継承します。

### ◆ 良好な景観を創出する

地域固有の景観資源の価値を市民と共有し、地区の特性を生かした景観まちづくりの取組を推進します。

### ◆ 豊かな水と緑を大切に守り生かす

#### 【平成27年度の主な取組】

#### ◇ 公園・緑地、崖線樹林地の保全（基本計画事業 No.97）＜環境部＞ 3億2,800万円

市民や団体の保全活動への支援や人材の育成などにより、協働による公園・緑地、崖線樹林地の維持保全を進めるとともに、市民が安全で安心して公遊園を利用できるよう公園施設長寿命化計画に基づく計画的な維持保全を行います。

平成27年度は、深大寺自然広場のトイレ・ホタル小屋改築工事の設計、布田崖線及び仙川崖線の崖線樹林地の良好な保管理に向けた検討を進めるほか、緑化基本調査、仙川崖線の公有化（買戻し）を行います。また、市民との協働による花いっぱい運動について新たな地域での開始に向けて取り組みます。

#### ◇ 公園・緑地等の整備（基本計画事業 No.98）＜環境部＞ ※拡充 1億700万円

公園の配置状況や市民の利用ニーズを踏まえ、新たな公遊園の整備や既存の公園・緑地等の再整備を推進します。平成27年度は、布田南ふれあい公園の整備のほか、鉄道敷地公園（1か所）の用地取得・設計を行います。

#### ◇ 深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用（基本計画事業 No.99）＜環境部＞ 2,700万円

平成25年度策定の「深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画」に基づき、地域の環境資源の保全・活用に向けた取組を進めます。また、引き続き、東京都の事業である「農業・農地を活かしたまちづくり事業」を活用し、同地域において、営農支援につながる事業や、農業・農地の多面的機能を活かす取組を進めます。

### ◆ 良好な景観を創出する

#### 【平成27年度の主な取組】

#### ◇ 景観計画・景観条例の運用（基本計画事業 No.78）＜都市整備部＞ 600万円

地域の特性を生かした魅力ある景観まちづくりに向け、景観条例・景観計画の適正な運用に取り組みます。平成27年度は、屋外広告物についての景観形成ガイドラインの検討を行います。

#### ◇ 深大寺地区におけるまちづくりの推進（基本計画事業 No.85）＜都市整備部＞ 500万円

深大寺地区の風情ある街なみ景観の維持、保全を図るとともに、地域資源の活用によるにぎわいの創出や地区の回遊性を高めるため、深大寺通り街づくり協議会と連携し、街なみ環境整備事業を推進します。

平成27年度は、公共サイン整備、街なみ整備助成のほか、市道北136-2号線ほかの遊歩道・散策路整備に向けた測量設計を行います。



#### ◇ 公共サイン計画の検討・運用（基本計画事業 No.79）＜都市整備部＞※拡充 300万円

調布市公共サイン整備方針に基づき、多言語対応も含め、だれにもわかりやすい公共サイン整備に向けた検討を行います。平成27年度は、中心市街地における公共サイン整備計画の検討を進めます。

## 2 平成27年度におけるその他の主な新規・拡充事業 ★は新規事業 ☆は拡充事業

- ★市制施行60周年事業の実施（記念式典・記念イベントの実施、市勢要覧・記念映像の制作等）
- ☆マイナンバー制度対応に向けたカード発行事務及びシステム改修
- ☆オープンデータへの取組の充実と地域情報化の推進
- ★特別徴収圧着式税額決定通知の改善
- ☆地域福祉コーディネーターの設置（2か所拡大、計4か所）
- ★生活困窮者自立支援事業
- ★人感センサー通報システムによる見守り事業のモデル実施
- ☆放課後等デイサービスの新規開設支援（1か所）、障害者グループホームの新規開設支援（2か所）
- ☆認証保育所等保育料の保護者負担の軽減（所得に応じ助成額を増額）  
※拡充分の事業費については、地域住民等緊急支援のための交付金を活用（平成26年度補正予算）
- ☆学童クラブの運営の充実（6年生まで対象拡大、ユーフォーとの一体的運営の開始）
- ★調布駅南口東地区再開発ビルにおける子育てカフェ、一時預かり、広場機能の開設
- ☆食物アレルギー対策の着実な推進（給食管理システムへのアレルギー対応機能の導入）
- ★通学路の安全確保の推進（防犯カメラの設置）
- ★調布市上ノ原ふれあいの家の開設
- ★姉妹都市交流30周年事業及び都市間交流の充実
- ★戦後70年事業の実施、平和祈念事業の拡充（広島市への市民派遣）
- ★調布市国際交流平和都市宣言25周年事業の実施
- ☆都市農業経営パワーアップ事業補助の活用
- ☆都市農業経営育成対策事業の充実
- ☆環境基本計画、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改定
- ★環境施策と緑地保全の両面で活用できる新たな基金の創設
- ☆柴崎駅周辺における交通環境の改善に向けた検討
- ★居住支援協議会の設立、空き家の実態調査
- ★味の素スタジアム周辺道路の無電柱化（基本設計）

## 3 計画的な公共建築物の改修・維持保全等

調布市は、「市役所庁舎」・「文化会館たづくり」などの大規模な建築物から、「図書館分館」・「ふれあいの家」のような小規模な建築物まで、300を超える公共建築物を保有しています。

これらの公共建築物は、市が発展し人口が急増した昭和40～50年代（1965～1975年頃）に建設した施設が多く、経年劣化が進んでいます。

公共建築物の維持保全上の現状と課題を踏まえ、維持保全の基本的な考え方や整備の方針、維持保全の優先順位などを明らかにした「公共建築物維持保全計画」を平成22年3月に策定しました。

維持保全計画については、基本計画と連動しながら時点修正し、今後も計画的な維持保全を進めることとしています。また、維持保全と合わせて、児童・生徒数の増加等への対応（校舎等の増改築）や環境配慮等の取組など、ニーズに応じた機能向上のために必要な対策を講じていきます。

平成27年度における公共建築物の改修・整備については、児童・生徒数の増加に対応した小学校の教室改修工事や、公共建築物維持保全計画に基づく、学校施設の整備、文化会館たづくり・グリーンホールなどの施設改修を行います。

### ◇ 改修等の概要

単位：百万円

維持保全等工事内容	取組予定					
	平成26年度前倒し実施		平成27年度実施		合計	
	建築物数	事業費	建築物数	事業費	建築物数	事業費
増築・改良工事等	1	6	16	763	17	768
老朽化に伴う工事等	11	161	47	2,844	58	3,005
合計	12	167	63	3,606	75	3,773

※建築物数欄には、「学校空調リース」、「小口修繕」等を除いた建築物数を記載しています。